

# Fukushi 上末吉福祉だより

発行 上末吉地区社会福祉協議会 会長 渡邊 武

## 東日本大震災発生から2ヵ月がたちました！

～巨大地震、大津波、そして原発事故～

3月11日の東日本大震災は想像を絶する被害をもたらしました。被災に  
関わった方々には心よりお見舞い申し上げます。

被災地では少しずつ復興への歩みが始まっていますが、原子力発電所の危  
険はなくなったわけではありません。地震発生から2ヶ月を過ぎた今、あら  
ためて地震や水害に対して考えてみる必要があると思います。

上末吉地区は、今回のような大津波はあまりないと思われませんが、災害時  
には、何が起るかわかりません。日ごろからの備えが必要です。

### 最低限の準備や行動は次のとおりです

#### 地震に備える

● 家族避難場所を家族で話し合っておきましょう

● 避難場所への経路の確認をしましょう

● 家具類の転倒防止をしておきましょう

● 食料や水を3日分備蓄しましょう

● 水は一人につき1日3リットル必要

● 水道水は、冷蔵庫など、暗くて涼しい場所で保管。夏場は3日間、冬場は1  
週間程度保存できます(古い水から使って補充しておけば、常に水は確保で  
きます)。食料は、常備として火を使わないで食べられる物を中心に

#### 地震が発生したら！

① 身の安全

● 窓や外に飛び出さない ・ 裸足で歩き回らない

● 逃げ道を確保 ・ 落下物や転倒物などから離れる

② まずは火の始末(揺れがおさまったら)

● 燃えている火を消す ・ 火災がおきたら隣近所に大声で知らせよう

● 避難する(地域の防災拠点: 末吉・上末吉小学校、末吉中学校等)

● 家を出る前に、ガスの元栓を閉め、電気のパレーカーをoffにする

● 正確な情報を入手しよう ・ 安全が確認できるまで戻らない

● 自宅に備えて携帯ラジオが有効です(電池も忘れずに)

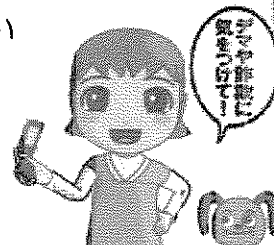
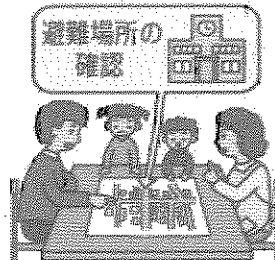
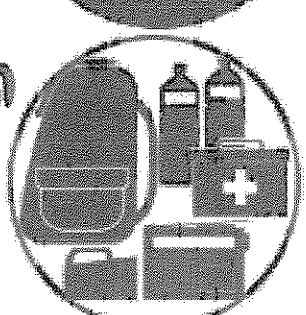
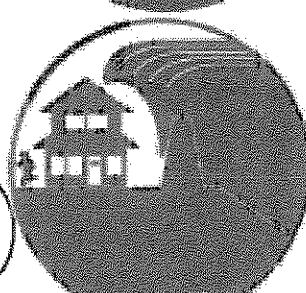
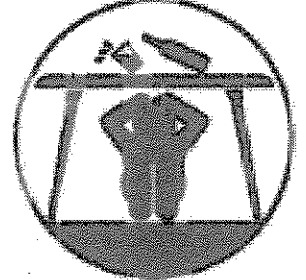
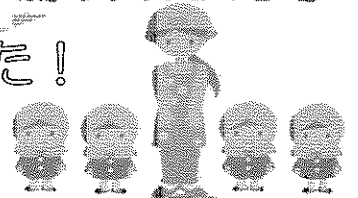
③ 近所との助け合い

● 声を掛け合って、被害を最小限度に食い止めるよう日ごろ  
の情報交換が必要です

④ 非常持ち出し品を常に準備して、すぐに持ち出せるように

● 食料は1～3食分を用意 ・ 水 ・ 携帯ラジオ ・ 懐中電灯 ・ 電池 ・ 常備薬 ・ 健  
康保険証 ・ 現金 ・ 通帳 ・ ヘルメット ・ 着替え ・ タオル ・ マスク ・ 軍手等

● その他として簡易コンロ ・ ホンペがあると後々助かります



ごまめに消そう

複数のコンセントを  
抜くだけ  
簡単なお仕事です

湯水洗浄便座  
ふたを閉めて乾燥

出火のことで  
緊張を!



平成22年7月に作成した「上末吉地区地域防災マップ」をもう一度確認  
しましょう!(全戸配布されています)

平成 22 年度上末吉地区社会福祉協議会決算書

自平成 22 年 4 月 1 日

収入 支出 至平成 23 年 3 月 31 日

区社協助成金	530,500	庶務費	14,871
地区連合助成金	100,000	会食費	314,980
賛助会費返戻金	238,700	子育て支援事業	50,000
会食時會費	95,600	活動費	97,080
利子	167	広報費	50,450
前年度繰越金	748,380	老人の集い助成金	150,000
		敬老の集い助成金	150,000
		慶弔費	0
		渉外費	36,000
		次年度繰越金	849,966
計	1,713,347	計	1,713,347

「ぼんぼこりん広場」2010 年度ボランティア研修

1. わっくん広場研修会

基礎講座 9/6 9/13 わっくん広場 2F 研修室

- ・子育て支援拠点から見た今の子育て状況
- ・今日の子育て状況はなぜ起きたか
- ・居場所、ひろば、サロン等でのお母さんへの対応と留意点

専門講座 10/4 11/1 区子育て支援サービス

- ・虐待とは何か、その予防のために、鶴見区の現状等
- ・手づくりおもちゃ講座
- ・「気になる子」とその母親への対応

2. わっくん広場・鶴見ふらっとる一む交流会 11/29

わっくん広場 2F 研修室

3. 地区社協主催

横浜市リハビリテーションセンター見学会 1/25

「横浜リハセンターの機能と役割・利用方法」

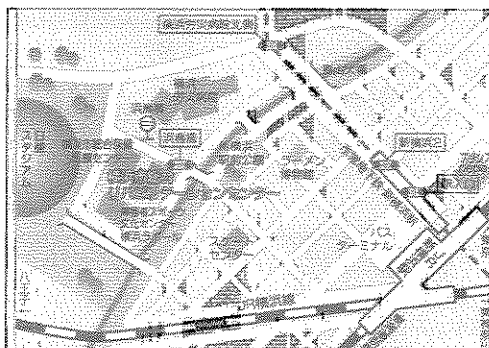
講師 リハビリテーション部 相談支援小田課長

施設の概要

- 羽ばたきへのスタート (総合相談)
- 人もまちもやさしくなるために (地域サービス)
- 未来へのお手伝い (療育)
- 可能性を引き出し社会へ (社会参加支援)
- いつも新しいリハビリテーション (企画開発研究)
- 一貫して医学の目で見守る (医学的リハビリテーション)

障害児・者についてのさまざまな相談に応じています。まずは電話でご相談を。045-473-0666 (代表)

横浜市  
リハビリテーション  
センター



ぼんぼこりん広場

50回目を迎えました

広場に遊びに来てくれた親子さん、ボランティア、支えてくださった地域の方々に感謝いたします。

親子に楽しい時間を過ごしていただくために、今年も工夫を重ねていきます。子育て中の方々がほっとできる場を提供できればと思っています。

6月の広場(6月20日10時~12時)はちょっと早めの「七夕」です。二丁目会館に大きな笹が登場しますよ。参加のママたちに短冊に願い事を書いていただき、笹に飾ります。また、希望者には折紙で星や吹流し、ちょうちんなどの作り方を教えます。お家に持ち帰って、7月7日にはご家庭で七夕をお楽しみください。地域の皆さんも、どうぞ、のぞいてみてくださいね。



カレンダー

- 6月 3日 (金) 金曜えがお亭
- 6月 17日 (金) やよい会
- 6月 20日 (月) ぼんぼこりん広場
- 7月 1日 (金) 金曜えがお亭
- 7月 15日 (金) やよい会・老人の集い
- 7月 20日 (月) ぼんぼこりん広場
- 8月 5日 (金) 金曜えがお亭
- 8月 15日 (月) ぼんぼこりん広場
- 8月 19日 (金) やよい会

